

# 世界史

【第1問】諸子百家に関する次の文章を読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

諸子百家の中で後世に最も大きな影響を与えたのは、（ア）の説を奉じる儒家の思想である。（ア）は、親に対する「孝」などの家族道徳が実践されれば、社会秩序は保たれると主張した。（ア）の言行は後に『論語』としてまとめられ、その思想は(a)戦国時代の儒家たちによって継承された。(b)武帝の時代には、（イ）の提案により儒学が官学となり、その経典として(c)五経が定められた。

儒家以外の諸子百家には、血縁をこえた無差別の愛（兼愛）を説いた（ウ）、無為自然による生き方を説いた（エ）、法治主義を主張した(d)法家、論理学を説いた（オ）、農業技術を論じた（カ）などがある。

問1 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①孔子
- ②莊子
- ③墨子
- ④老子

問2 下線部(a)戦国時代の儒家に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：荀子は性善説を唱えた。

Y：孟子は性悪説を唱えた。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問3 下線部(b)武帝に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：均輸・平準などの経済統制策を実施した。

Y：塩・鉄・酒の専売を行った。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問4 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①張角
- ②張騫
- ③董其昌
- ④董仲舒

問5 下線部(c)五経に含まれない語句として最も適当なものを、次の①から⑥の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①『易経』
- ②『史記』
- ③『書経』
- ④『詩経』
- ⑤『礼記』
- ⑥『春秋』

問6 空欄（ウ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から⑥の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①陰陽家
- ②縦横家
- ③道家
- ④農家
- ⑤墨家
- ⑥名家

問7 空欄（エ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から⑥の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①陰陽家
- ②縦横家
- ③道家
- ④農家
- ⑤墨家
- ⑥名家

問8 下線部(d)法家に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：孫子は兵法を説いた。

Y：蘇秦は焚書・坑儒を建議した。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問9 空欄（オ）に入る語句として最も適切なものを、次の①から⑥の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①陰陽家
- ②縦横家
- ③道家
- ④農家
- ⑤墨家
- ⑥名家

問10 空欄（カ）に入る語句として最も適切なものを、次の①から⑥の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①陰陽家
- ②縦横家
- ③道家
- ④農家
- ⑤墨家
- ⑥名家

【第2問】明の朝貢体制に関する次の文章を読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

明の初代皇帝（ア）は海禁政策をとり、民間人の海上交易を認めず、政府の管理する朝貢貿易を推進した。第3代皇帝（イ）は積極的な対外拡張政策をとり、鄭和を南海諸国へ派遣するなどした。

明を中心とする朝貢貿易は、東アジアからインド洋に至る広い範囲で行われた。(a)琉球は中継貿易で繁栄した。14世紀末頃マレー半島南西岸に建てられた（ウ）は、鄭和の遠征をきっかけに急成長し、中国への朝貢貿易の拠点となった。

朝鮮は明の制度を取り入れた改革を行い、世宗の時には(b)文化事業も盛んに行われた。日本は、遣唐使の停止以来、中国への朝貢が途絶えていたが、足利義満は明との（エ）を始めた。ベトナムの（オ）は明と朝貢関係を結び、明の制度を導入して国力を高めた。

朝貢貿易は規模や品目などに厳しい制限が設けられており、これに不満をもつ(c)北方のモンゴル諸部族はしばしば中国へ侵入した。また、東南海岸では倭寇の活動が活発化し、明を苦しめた。

問1 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から⑥の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①永楽帝
- ②建文帝
- ③洪武帝
- ④崇禎帝
- ⑤正統帝
- ⑥万暦帝

問2 空欄（ア）に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：里甲制を実施し、賦役黄冊や魚鱗図冊を整備した。

Y：民衆教化のために六諭を定めた。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問3 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から⑥の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①永楽帝
- ②建文帝
- ③洪武帝
- ④崇禎帝
- ⑤正統帝
- ⑥万暦帝

問4 空欄（イ）に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：一条鞭法の改革を実施した。

Y：『四書大全』や『五経大全』を編纂させた。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問5 下線部(a)琉球に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：15世紀初めに中山王によって統一された。

Y：17世紀初めに島津氏に制圧されると、中国への朝貢は途絶えた。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問6 空欄（ウ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①マジヤパヒト王国
- ②マタラム王国
- ③マラッカ王国
- ④マラーター王国

問7 下線部(b)文化事業に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：金属活字による出版を禁止した。

Y：訓民正音（ハングル）が制定された。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問8 空欄（エ）に入る語句として最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

①東方貿易

②勘合貿易

③三角貿易

④朱印船貿易

問9 空欄（オ）に入る語句として最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

①阮朝

②陳朝

③李朝

④黎朝

問10 下線部(c)北方のモンゴル諸部族に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：アルタン＝ハンは土木の変で明軍を破った。

Y：エセン＝ハンはオイラトを駆逐して勢力を拡大した。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

【第3問】トルコ革命に関する次の文章を読むとともに、地図【I】を参照し、下の問い（問1～10）に答えなさい。

(a)オスマン帝国は(b)第一次世界大戦で（ア）の一員として参戦して敗れ、列強による国土分割の危機に直面した。1919年にはギリシア軍によってイズミルが占領された。トルコ人の国土と主権を守るため、軍人であったムスタファ＝ケマルは立ち上がった。

彼は1920年、（イ）を招集した。ギリシア軍を撃退して1922年にイズミルを奪回した後、（ウ）を廃止した。1923年には（エ）を結び、1920年に締結した講和条約である（オ）を破棄して、国境を新たに定めた。そして、(c)アンカラを首都とするトルコ共和国を樹立し、彼は初代大統領となった。1924年には（カ）を公布し、（キ）を廃止するなど、様々な(d)近代化政策を推し進めた。

地図【I】



問1 下線部(a)オスマン帝国に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：イタリア＝トルコ戦争で敗北し、トリポリ・キレナイカ（リビア）を奪われた。

Y：第2次バルカン戦争で敗北し、バルカン半島のほとんどを失った。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問2 下線部(b)第一次世界大戦に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：イタリアは「未回収のイタリア」の獲得を目指して参戦した。

Y：アメリカは1917年に無制限潜水艦作戦を宣言し、参戦した。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問3 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

①協商国

②枢軸国

③同盟国

④連合国

問4 空欄（ア）に入る語句に含まれない国として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

①オーストリア

②セルビア

③ドイツ

④ブルガリア

問5 空欄（イ）（カ）に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 25

- ①イ：「統一と進歩団」      カ：トルコ共和国憲法
- ②イ：「統一と進歩団」      カ：ミドハト憲法
- ③イ：トルコ大国民議会      カ：トルコ共和国憲法
- ④イ：トルコ大国民議会      カ：ミドハト憲法

問6 空欄（ウ）（キ）に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①から⑥の中から一つ選び、番号で答えなさい。 26

- ①ウ：イクター制      キ：カリフ制
- ②ウ：イクター制      キ：スルタン制
- ③ウ：カリフ制      キ：イクター制
- ④ウ：カリフ制      キ：スルタン制
- ⑤ウ：スルタン制      キ：イクター制
- ⑥ウ：スルタン制      キ：カリフ制

問7 空欄（エ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から⑥の中から一つ選び、番号で答えなさい。 27

- ①ヴェルサイユ条約
- ②サン＝ジェルマン条約
- ③セーヴル条約
- ④トリアノン条約
- ⑤ヌイイ条約
- ⑥ローザンヌ条約

問8 空欄（オ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から⑥の中から一つ選び、番号で答えなさい。 28

- ①ヴェルサイユ条約
- ②サン＝ジェルマン条約
- ③セーヴル条約
- ④トリアノン条約
- ⑤ヌイイ条約
- ⑥ローザンヌ条約

問9 下線部(c)アンカラの位置として最も適当なものを、地図【I】の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 29

問10 下線部(d)近代化政策に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 

30
----

X：太陽暦を採用した。

Y：アラビア文字に代わってローマ字を採用した。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

【第4問】「冷戦」に関する次の文章を読むとともに、地図【Ⅱ】を参照し、下の問い（問1～10）に答えなさい。

第二次世界大戦後のヨーロッパでは共産党が躍進し、東欧地域ではソヴィエト社会主義共和国連邦（ソ連）に友好的な政権が成立した。ソ連への警戒感を強めたアメリカは、1947年3月に(a)ソ連の拡大を封じ込める政策を提唱し、同年6月には(b)ヨーロッパ経済復興援助計画を発表した。西欧諸国は援助を受け入れたが、ソ連・東欧諸国はこれを拒否し、同年9月、国際的な共産党の情報交換機関である（ア）を結成した。

東欧諸国でのソ連の影響力強化に対抗して、(c)西欧5カ国は1948年に西ヨーロッパ連合条約を結び、翌年にはアメリカを含む西側12カ国で、西側の集団安全保障機構である（イ）を結成した。他方、ソ連・東欧諸国は1949年に経済相互援助会議を創設し、1955年には安全保障機構として（ウ）を発足させた。

(d)ベルリン封鎖の解除後も、東西対立は収まらず、ドイツではアメリカ・イギリス・フランスの占領地区とソ連の占領地区との分断が進んだ。前者では1949年5月、ドイツ連邦共和国（西ドイツ）がボンを首都として成立し、（エ）首相の下で「経済の奇跡」を実現した。後者では同年10月、東ベルリンを首都とするドイツ民主共和国（東ドイツ）が成立した。

アメリカのブッシュ（父）大統領とソ連の(e)ゴルバチョフ共産党書記長は、1989年の（オ）で「冷戦」の終結を宣言した。この会談では東西ドイツ統一についても話し合わせ、1990年に統一ドイツが実現した。

地図【Ⅱ】



問1 下線部(a)ソ連の拡大を封じ込める政策に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

31

X：トルーマン＝ドクトリンと呼ばれる。

Y：ギリシアとトルコへの軍事支出をその内容としていた。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問2 下線部(b)ヨーロッパ経済復興援助計画に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

32

X：シューマン＝プランと呼ばれる。

Y：石炭・鉄鋼資源を共同管理し、経済再建をはかるものである。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問3 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 33

① コミンテルン

② コミンフォルム

③ コメコン

④ コルホーズ

問4 空欄（ア）に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 34

X：ユーゴスラヴィアはソ連に対して自主的な姿勢をとったため、除名された。

Y：フルシチョフ第一書記は平和共存政策の一環として、これを解散した。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問5 下線部(c)西欧5カ国に含まれない国として最も適当なものを、次の①から⑥の中から一つ選び、番号で答えなさい。 35

① イギリス

② オランダ

③ ハンガリー

④ フランス

⑤ ベルギー

⑥ ルクセンブルク

問6 空欄（イ）（ウ）に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 36

① イ：北大西洋条約機構      ウ：中央条約機構

② イ：北大西洋条約機構      ウ：ワルシャワ条約機構

③ イ：全欧安全保障協力機構      ウ：中央条約機構

④ イ：全欧安全保障協力機構      ウ：ワルシャワ条約機構

問7 下線部(d)ベルリンの位置として最も適当なものを、地図【Ⅱ】の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 37

問8 空欄（エ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 38

① アトリー

② アデナウアー

③ テイトー

④ ブラント

問9 下線部(e)ゴルバチョフ共産党書記長に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 39

X：ペレストロイカを提唱した。

Y：ロシア連邦の初代大統領となった。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問10 空欄（オ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。 40

①テヘラン会談

②マルタ会談

③ミュンヘン会談

④ヤルタ会談